

森のおくりもの6月



サンコウチョウ (カササギヒタキ科)



写真：加藤勝久さん（太白区）

深緑の6月となりました。森の中は、新緑から目にも鮮やかな濃い緑に変化してきております。今年は、全般的に植物の開花が早まっており、もうすでにヤマボウシの花は終わりかけているなど、多くの花の開花状況が例年とは違っております。ともあれ、梅雨目前の短い間ではありますが、さわやかな深緑の自然観察の森をお楽しみいただければと願っております。

【館長 菊池正行】

歩く宝石!?

アカスジキンカメムシ

●体全体が美しい金属光沢（金緑色）を放つ。
死んでしまうと、くすんでしまい、美しさは再現できない。
濡れたティッシュで拭くと濡れている間だけ、少し輝きが戻るが、またくすんだ色に戻ってしまう。



●多くのカメムシの間は中脚と後脚の間の付け根辺りから匂いを出す。

【体長：16-20mm】

●食べ物

大人も子供も植物の汁を吸って生きています。

「カメムシ」というと、「ヘッピーリムシ」などという俗称をもつことから、カメムシはみんな「臭い!!」と思われている方が多いのではないのでしょうか？確かに体から臭気を放つのが特徴でもあります。臭気の成分は種類によって違います。（中には果物のような香りのするカメムシも？）このカメムシは手に乗せる程度では、匂いを出さないのか、私は臭いと感じたことはありません。森で見かけたら、こんなに美しいカメムシもいるのか！と感激してしまいます。

観察の森では、成虫はミズキの近くにいることが多いですが、幼虫はキブシの実について汁を吸っているところをよく見かけます。昨年はイチイの近くで幼虫が越冬していました。

匂いのひみつ

実は匂いには、理由があります。

ある種では集合の合図として、また、警報の合図として重要な働きをしています。

*成虫は腹側に、幼虫は背面に臭いを出す腺があります。

幼虫は笑った顔

●幼虫で越冬します。

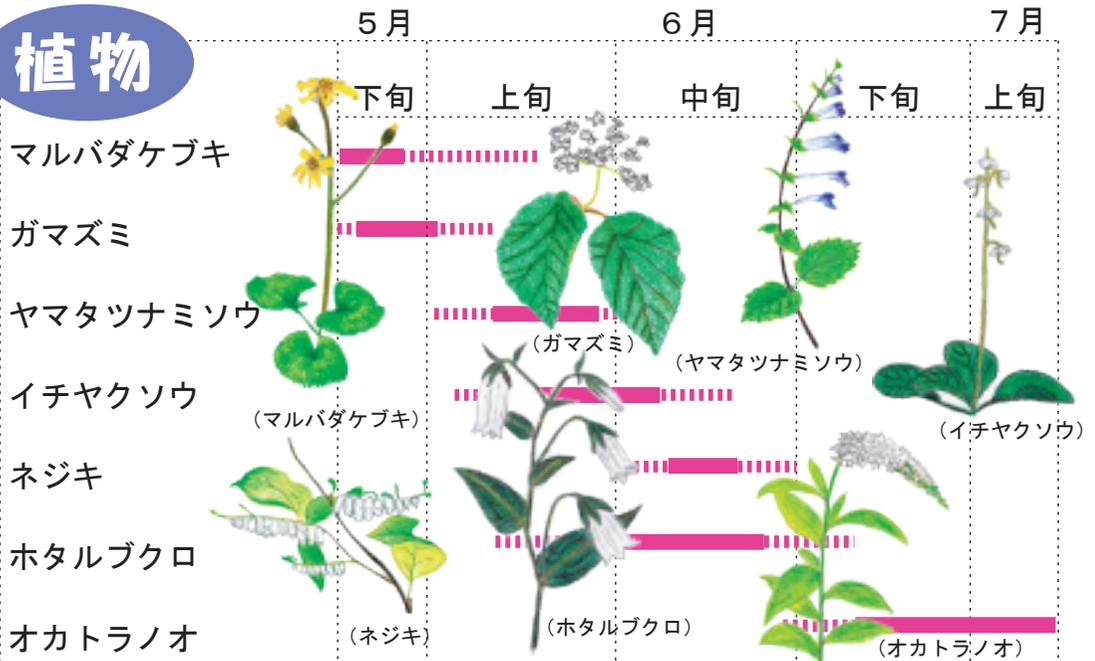


ほら、お団子頭の笑っている顔にみえませんか？

【レンジャー：黒川周子】

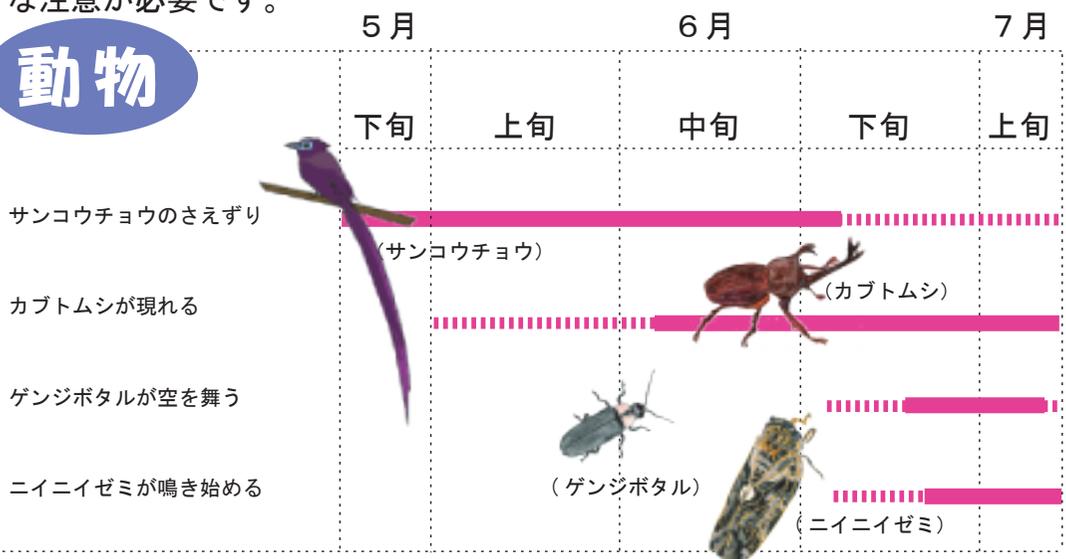
6月の生物ごよみ

植物



6月といえばサンコウチョウの情報をよくきかれますが、今年は5月の前半にいち早くやってきました。昨年は自然観察の森内での子育てを確認出来ましたが、この時期はとてもデリケートな時期なので巣などを見つけても撮影のために長期間滞在するなど、野鳥にストレスを与える行為はやめましょう。最悪の場合、途中で子育てを放棄する場合がありますので十分な注意が必要です。

動物



【レンジャー：齋 正宏】

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思ひます。

はっけんメモ その13

『初夏だけど”秋”なタケやササ』

季節は初夏。森の中は新緑のやわらかな色合いから、あっという間に深い緑色にかわりました。森の中は木々の先に広がる葉に光がさえぎられ、木漏れ日が優しく差し込んでいます。

そんな中何やら元気のなさそうな葉っぱが、ひらりひらりと落ちて来ます。あたりを見渡すと落ち葉の正体は**タケ**、**ササ**などの葉っぱ。竹やぶは黄色に変わり、秋が来てしまったかのように寂しげです。

枯葉色になった葉っぱの下から、新しい芽が伸びてきています。



枯葉色になった竹やぶ。

葉っぱは褐色に黄葉していますが、よく見ると古い葉っぱの下から新芽が伸びてきているのがわかります。全ての葉が一度に落葉して丸坊主になってしまうことはなく、落葉とほぼ同時に新芽が展開するのでタケやササは常緑の植物なのです。この頃になるとタケノコも大きくなり、みずみずしい緑色に成長しています。竹は常緑で一年中緑色のような気がしてしまひますが、実はちゃんと新しい葉っぱに変わる時期があるんですね。 【レンジャー：河合 遥】

ヒノキやスギ、マツなどの針葉樹も花粉を飛ばしたあとに新葉を展開するようすです。森の中で針葉樹を見つけたら枝の先っぽを観察してみてください。固くてトゲトゲした針葉樹のイメージとは正反対の、柔らかくて優しい黄緑色の葉っぱが見られますよ。

新人レンジャーの観察日記

皆さん初めまして、4月から観察センターに配属になりました阿部と申します。観察センターの園内で見かけた動植物など森の様子を毎月紹介していこうと思っています。とは言ってもまだまだ知識不足の為、専門的なお話はできませんので森で見つけた発見や自分で感じたことなどを主にお伝えしてみます。初回はスナヤツメという生き物を紹介したいと思います。ある日、トンボの沢という場所で笹川の流れを見ていた時です。川の流れの中で何やらドジョウのようなものが川底でよろよろと数匹いました。後で調べてみると将来的に絶滅の可能性が高いと言われている貴重な生物のスナヤツメだったので驚きました。

この生物は水が清らかでかつ流れが緩やかな所で生息するために、どうしても生息域が限られてしまいます。スナヤツメはたぶん私にとって、今回が生まれて初めての出会いだと思います。川面を一生懸命に泳ぐスナヤツメはそれだけに非常にインパクトのある生き物でした。



【笹川で採取したスナヤツメ】

私がレンジャーになる前に受けた研修では、自然保護と環境保全についての重要性を教えてもらいました。スナヤツメの一生は約5年です。園内を流れる笹川に生まれ育ったスナヤツメ達は、無事に産卵という種の存続を果たし一生を終えてくれるだろうか？ 汚れのない水質と緩やかな水流、そしてスナヤツメの食料となる程よい落ち葉の蓄積がすべてそろった笹川上流部の環境が、原始的で生きた化石とも言われるスナヤツメを育ててくれたようです。これからもずっと皆さんと共に見守っていきたくて考えております。



【レンジャー：阿部正明】



6月のイベント&お知らせ

◆「おはよう野鳥かんさつ」 6月13日(土) 6:30～8:00

・初夏の雑木林を歩きながら、野鳥のさえずりを楽しみます。

【定員】定員なし 申込み不要

【料金】無料

【持ち物】歩きやすい服装、雨具、あれば観察用具(身分証提示で双眼鏡の貸し出しあり)

◆「キッズ昆虫たんけん隊」 6月20日(土) 10:00～12:00

・昆虫を捕まえ、スケッチをしてじっくり観察をします。

(保護者の方は子供とは別に森をご案内します。)

【定員】小学生15名(応募多数時は抽選)

【料金】無料

【持ち物】歩きやすい服装(長袖長ズボン)、帽子、雨具、飲み物

【申込み】6月12日(金)までにEメールか往復はがきで



◆「深緑の鈎取山ハイク」 6月27日(土) 10:00～15:00

・青葉が薫る鈎取山原生林の自然を観察しながら、ハイキングを楽しみませんか?

【定員】先着20名

【料金】無料

【持ち物】歩きやすい服装、雨具、昼食、飲み物

【申込み】6月6日(土)9:00から電話で[先着順]

◆「夏支度! 吊るして楽しむ、苔玉づくり」 7月4日(土) 10:00～12:00

・観察の森に生えているコケや草、樹木の実生を使って吊るせる苔玉をつくりまします。

【定員】15名(応募多数時は抽選)

【料金】300円(1人1作品のみ)

【持ち物】歩きやすい服装、レジ袋、軍手、シャベル、雨具、飲み物など

【申込み】6月23日(火)までに往復はがきで

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

6月の開催日は

7日、14日、21日、28日

開催時間: 10:00～11:30

13:30～15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

◎21日の午後は、自然観察センター館長がご案内します。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!!

イベント申込用



6月の休館日

1日、8日、15日

22日、29日



宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2015年6月号(毎月1回5日発行)

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp